

# 平成19年度東北海区海況予報 第2号

平成19年6月15日

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所

東北区水産研究所

## <<今後の見通し(2007年6月下旬～7月中旬)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏(35°20'N～36°20'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海でやや北偏に推移する。
- (3)金華山沖、鮫角沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、かなり北偏(41°N～42°Nまで)で推移し、三陸～常磐近海に冷水域が残る。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°50'E付近まで)で推移する。

## (海況の経過(2007年3月～2007年5月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏(35°20'N～35°50'N)で推移した。
- (2)暖水塊が、鮫角沖約250km、常磐沖約300kmにあり、5月には黒崎沖約180kmに新たに認められた。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、4月～5月にかなり北偏(41°30'N～41°20'N)であった。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～弱勢であった。
- (5)表面水温は、三陸北部沿岸を中心にしてやや高く、三陸南部以南は、4月以降やや低い傾向が続いた。

## (現況(2007年5月下旬～6月上旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏(36°N)である。
- (2)暖水塊が金華山沖約330km、鮫角沖約350km、および釧路南東沖約80kmにある。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、かなり北偏(41°20'N)である。
- (4)三陸～常磐近海に冷水域が複数ある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°10'E)である。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以東を表す。

\* 表面水温・人工衛星情報による